

都市再生整備計画(第1回変更)

ながくてこせんじょうえきしゅうへんちく
長久手古戦場駅周辺地区

あいち 愛知県 ながくて 長久手市

平成31年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	ながくてし 長久手市	地区名	ながくてしせんにぎしちゅうへんく 長久手古戦場駅周辺地区	面積	213 ha
計画期間	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度	交付期間	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度				

目標

大目標 : リニモ駅を中心に人と機能が集まり、活気と交流が生まれるまちづくり

目標1 リニモ駅を中心に人と機能が集積し、利便性の高い魅力あふれるまちの実現

目標2 市民活動に活気生まれ、多種多様な交流による新たなまちの魅力形成の実現

目標3 何度も訪れたいくなる安全で居心地のよいまちづくりの実現

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 本市は名古屋市東部に隣接したベッドタウンとして発展してきており、特に名古屋市に隣接する市西部の市街地は、土地区画整理事業を主体として基盤整備が行われ、住宅地が形成されてきた。
- 人口動向については、全国的に人口減少傾向が進む昨今、本市においては順調な伸びをみせており、今後もその傾向は継続すると予測されている。
- 本市の中央部を東西に横断する東部丘陵線(通称「リニモ」)は、愛・地球博の開催を契機に開通した鉄道路線であり、愛・地球博から約10年が経過した今もなお、本市の機軸となる移動手段として重要な役割を担っている。今後も、本市が鉄道駅を中心としたコンパクトな集約型まちづくりを推進し持続的な発展を遂げるためには、このリニモを最大限に活用したまちづくりが求められている(コンパクトシティ+ネットワークの実現)。
- 本地区を含むリニモ駅周辺においては、平成24年からの5か年で都市再生整備計画を実施しており、土地区画整理事業などを中心に新たなまちづくりを進めてきた。なかでも、本市のほぼ中央に位置し、本地区の中心となる長久手古戦場駅周辺では、商業をはじめとする集客機能や交流機能など多様な機能の集積を図ることにより、活気と賑わいのある新たな中心拠点の形成を目指しており、今後も継続的なまちづくりの推進が求められている。
- 土地区画整理事業をはじめとした面的整備を進めてきた本地区は、今後、駅利用者の新たな需要の高まりが想定されていることから、公共交通機関の利用促進に繋がる施設整備など、駅利用者が安全かつ快適に駅を利用できる結節点機能の強化が求められている。
- 本市は、子育て世代の居住者が増加傾向にあるほか、近隣の地域には多くの大学が立地しているなど、若者の力を活用した交流が推進できるポテンシャルを有しているものの、自由に活動ができる場が提供できない状況であることから、本市の中心でもある本地区において多様な主体が活動できる場の創出が求められている。
- 本地区には、駅徒歩圏内に歴史・文化等も含めた本市の魅力を発信できるスポットが点在しているものの、現時点では立地的優位性を活用しきれない状況である。そのため、施設の魅力向上を推進するとともに、長久手古戦場駅からの連続性の強化に向けた施設整備の推進が求められている。また、緑豊かな自然を有する本市の特性を鑑み、一団の宅地化を推進するなかにおいても地域に潤いを与える緑地空間と防災機能向上に資する広場空間を併せもった施設整備の推進が求められている。

課題

- 集客施設が立地し、市内外から多くの人々が集まる駅周辺において、魅力発信や交流促進機能の充実及び交通結節点機能の強化が必要である。
- 今後も増加が想定される新たな居住者も含め、市民活動団体等の相互交流を促進するための情報発信・交流の場の創出や行政以外の新たなまちづくり主体の育成を進めていくことが必要である。
- 土地区画整理事業による面的整備において従来の緑豊かな地域性を保持できる緑化の推進を図ることが必要である。

将来ビジョン(中長期)

- 第5次長久手市総合計画のビジョン
 - 「リニモでにぎわい交流するまち」を基本方針として掲げ、地域特性を生かした市街地を形成することとしている。特に、長久手古戦場駅周辺は、本市の新たな顔(シンボル・コア)として位置づけており、広場とそれを囲うように複合商業施設を配置する「リニモテラス構想」を主要プロジェクトとしている。
- 長久手未来まちづくりビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略
 - 「地域の魅力を活かし、賑わい・活気・交流をつくる」として、人が集まり情報発信の受発信が行われる交流の場の創造が位置づけられているほか、「地域のつながりを構築し、元気に安心して暮らせるまちをつくる」として、市民が支え合うコミュニティをつくることと位置づけられている。
- 都市計画マスタープランのビジョン
 - 長久手古戦場駅周辺を「シンボル・コア」(都市核)に位置づけている。
- リニモ沿線地域づくり重点プラン2016-2020
 - 重点戦略の中において、「集約型まちづくりと自然環境の保全」、「地域づくり活動の活性化」、「観光やイベントによる交流の推進」の3つが位置づけられている。
- 長久手市地域公共交通網形成計画
 - 基本方針において、「人々の生活を支える交通移動を提供し続ける」、「みんなで意識して、環境にやさしい公共交通利用を進める」ことが位置づけられており、それに基づき、「交通結節点、乗継拠点の整備」や「バス停の待合環境整備」等の計画事業が位置づけられている。

目標を定量化する指標

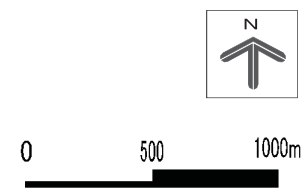
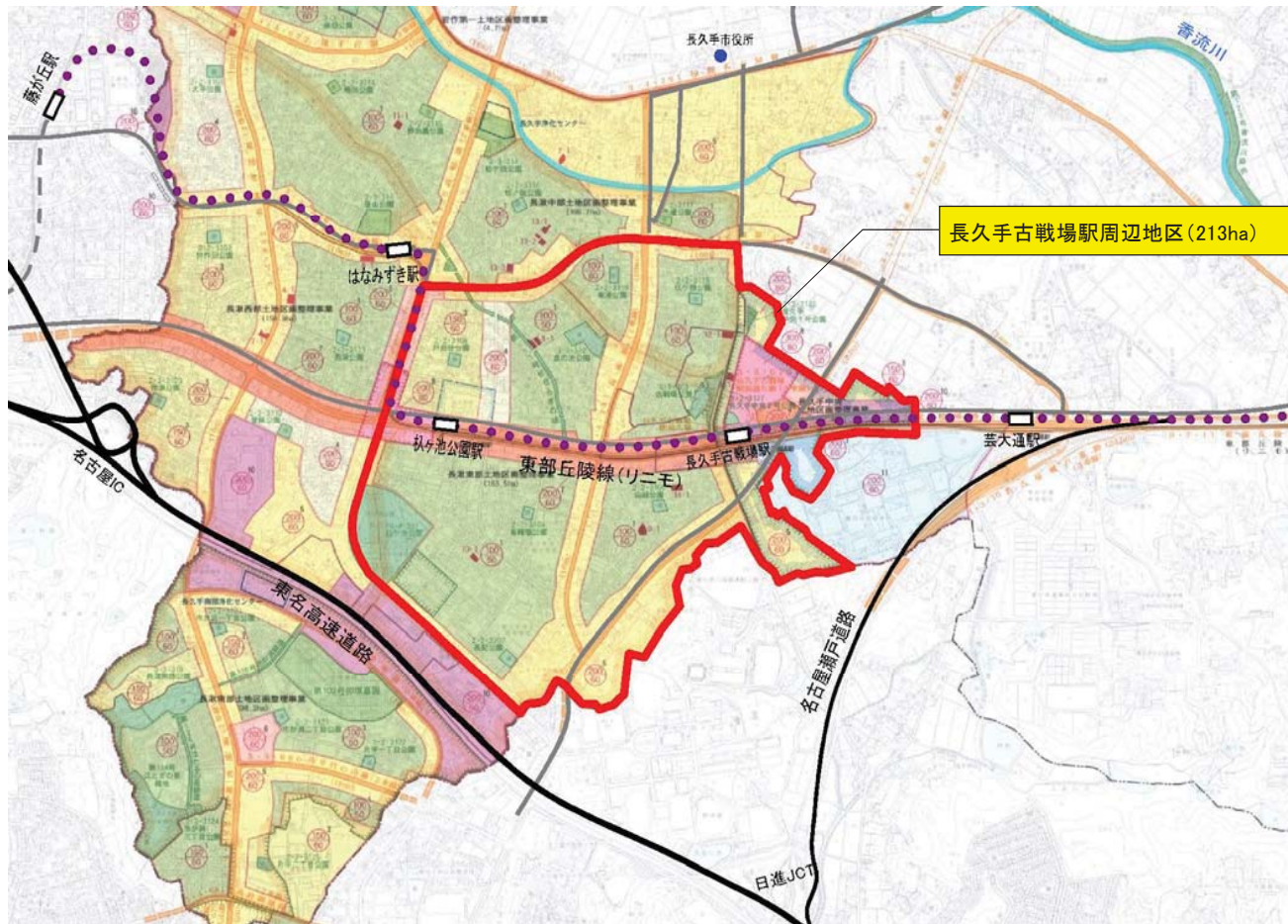
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
リニモ駅利用者	人/年	長久手古戦場駅利用者数	リニモ駅周辺における集客施設の整備や交通結節点機能の向上により、リニモ利用者数の増加を図る。	1,228,000	平成27年度	1,388,000	平成33年度
計画区域内の人口	人	対象地区内における人口	利便性の高い駅周辺地域において、多様な都市機能の強化を図ることにより、人口の増加を図る	11,895	平成28年度	12,216	平成33年度
古戦場公園利用者の満足度	%	古戦場公園利用者の満足度	既存建築物等に新たな付加価値を見出し、多様な主体の交流を創出することで、古戦場公園利用者の満足度の向上を図る。	23.5	平成27年度	50.0	平成33年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 駅を中心に人と施設が集積し、利便性の高い魅力あふれるまちの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の立地ポテンシャルを活かし、新たに商業、行政、交流機能の充実を図り、地域の一体的な魅力向上を図る。 ・交通結節点として、駅利用者が利用しやすい環境を整え、乗継利便性の向上を図る。 	<p>■基幹事業 【地域生活基盤施設】 中央地区駐輪場(駅南)、リコモテラス連絡通路、古戦場公園西側広場整備 【高次都市施設】 リコモテラス公益施設整備事業</p> <p>○関連事業 【土地区画整理事業】 長久手中央地区 Nバスルート再編事業 古民家移設改築工事(古戦場公園)</p>
<p>整備方針2: 市民活動に活気が生まれ、多種多様な交流による新たなまちの魅力形成の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体等の相互交流を促進するための情報発信・交流の場を創出し、多様な主体の交流の創出を図る。 ・レクリエーション施設を活かした情報発信やイベント活動を促進し、交流人口の拡大を図る。 	<p>■基幹事業 【地域生活基盤施設】 リコモテラス連絡通路、古戦場公園西側広場整備 【高次都市施設】 リコモテラス公益施設整備事業 【高次都市施設】 地域共生ステーション整備(南小学校区)</p> <p>○関連事業 古民家移設改築工事(古戦場公園) 担い手育成支援事業</p>
<p>整備方針3: 何度も訪れたい安全で居心地のよいまちづくりの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業をはじめとした面整備の推進に合わせ、潤いと憩いを提供できる居心地の良い施設整備を図る。 	<p>■基幹事業 【公園】 中央3号公園、中央4号公園 【地域生活基盤施設】 古戦場公園西側広場整備 【高次都市施設】 地域共生ステーション整備(南小学校区)</p> <p>○関連事業 【土地区画整理事業】 長久手中央地区</p>
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

<p>長久手古戦場駅周辺地区(愛知県長久手市)</p>	<p>面積</p>	<p>213 ha</p>	<p>区域 氏神前、戸田谷、秋ヶ池、東浦、城屋敷、東狭間、喜婦嶽、長配一丁目、長配二丁目、長配三丁目、香桶、仏が根、武蔵塚、砂子、山野田、山越、大久手、菅池、深田、勝入塚、よし池、深廻間の全部又は一部</p>
-----------------------------	-----------	---------------	--



長久手古戦場駅周辺地区(愛知県長久手市) 整備方針概要図

目標	駅を中心に人と機能が集まり、活気と交流が生まれるまちづくり	代表的な指標	リノモ駅利用者(人/年)	1,228,000 (平成27年度)	→	1,388,000 (平成33年度)
			計画区域内の人口(人)	11,895 (平成28年度)	→	12,216 (平成33年度)
			古戦場公園利用者の満足度(%)	23.5 (平成27年度)	→	50.0 (平成33年度)

